

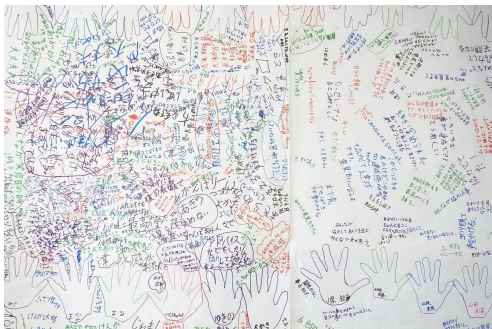


相手の考え方や立場を理解する

部長 勝木 茂

1か月ほど前になりますが、2学期始業式翌日の8月28日(水)～30日(金)2泊3日の日程で5年生を引率して“朝霧高原宿泊体験学習に行ってきました。

初等部では、宿泊体験学習や修学旅行を実施する時には、“自分だけが楽しい”ではなく、“自分もみんなも楽しい”ということを大切にしています。特に今回の宿泊体験学習では、そのことを体験的に理解することができるようなプログラムをいくつか取り入れました。1日目に行ったアドベンチャープログラムでは、ファシリテーターがついた4つのグループに分かれ、全員でいくつかの課題に挑戦しました。課題を解決するためには、自分勝手な行動をしていては解決できません。みんなで相談し、解決への見通しをもち、試行錯誤を繰り返しながら解決に向けて協力していくことが必要となります。その過程では、友だちと意見がぶつかることは数多くあります。しかし、友だちと折り合いをつけながら協力しないかぎり課題は解決しません。だからこそ、成功した時の喜びはとても大きなものだったと思います。5年生の子どもたちはよくがんばったと思います。先日の授業参観時にご覧になった方もいらっしゃると思いますが、4階、西階段を上ったところに、このプログラムをやりながら、子どもたちが「言われて嬉しかった言葉や励まされた言葉」をみんなの手形の内側に、「言われたり聞いていたりして嫌だった言葉や辛かった言葉」を手形の外側にグループごとに模造紙に書いていったものを全部つなげて掲示してあります。



2日目午後には、3日目に林業体験をさせていただき皆様より前以ていただいていた、2000個の檜で出来ているドミノを繋ぐことにチャレンジしました。初めは一人で、その後グループで、そして最後には学年のみんなですべてのドミノを繋げました。これもその過程では様々なこともありましたが、5年生の子どもたち、粘り強くよくがんばりました。

そして、キャンプファイヤー。わたしは、2年前、子どもたちが3年生の時のことをよく覚えています。今回、すべてにおいて成長した姿を目の当たりにして、とても嬉しく心が満たされる思いでした。(宿泊体験の様子は、初等部ホームページにも掲載しています)

さて、文部科学省「小学校学習指導要領」総則 第6 道徳教育に関する配慮事項には次のような記述があります。(以下、抜粋して引用)

- (1) 第1学年及び第2学年においては、挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けること、善悪を判断し、してはならないことをしないこと、社会生活上のきまりを守ること。
- (2) 第3学年及び第4学年においては、善悪を判断し、正しいと判断したことを行うこと、身近な人々と協力し助け合うこと、集団や社会のきまりを守ること。
- (3) 第5学年及び第6学年においては、相手の考え方や立場を理解して支え合うこと、法やきまりの意義を理解して進んで守ること、集団生活の充実に努めること、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること。

今回の宿泊体験学習のみならず、初等部の子どもたちには、正しい善悪の判断、集団や社会の決まりを守る、そして、相手の考え方や立場を理解して支え合うことができるようになってほしいと心より願っているところです。ご家庭でのご理解とご指導のほど引き続きよろしくお願いいたします。